

マイナ保険証 2年秋移行

免許証一体化も前倒し

河野太郎デジタル相は十一月三日、現行の健康保険証を二〇一四年秋に廃止してマイナンバーカードを代わりに使う「マイナ保険証」に切り替えると発表した。カードと運転免許証の一体化も二四年度末としていた実施時期の前倒しを検討する。保険証廃止はカード取得の事実上の義務化と言え、二三年二月末までにはほぼ全ての国民に交付するとした政府目標へ向け、普及促進を図る。=関連③面

カードの交付率は今年九月時点で人口の49%にとどまる。岸田文雄首相は同日のBSフジ番組で「日本を

国際社会に参りうないデジタル社会にするための一つの基盤だ」と述べ、政府はカード普及を急ぐが、野党からは取得の強制だとして批判が出ている。

河野氏は、米ゲートブルー基本ソフト(OS)「Android」を採用しているスマートフォンへのマイナンバーカード機能搭載が、来年五月十一日にできるようになることも明らかにした。カードを持ち歩かなくとも、住民票の交付といった行政手続きなどができる。米アップル「iPhone」への対応時期は未定。

マイナ保険証は既に本格運用が始まっている。医療機関は患者の同意の下、過去の処方箋や特定健診の情報を見て治療に生かせる。

カードなくとも 保険診療「検討」

厚労相会見

加藤勝信厚生労働相は十二日の記者会見で、二〇一四年秋の健康保険証廃止方針に關し、マイナンバーカ

ードがない人も公的医療保険による診療を受けられるよう、「丁寧に対応を検討する」と述べた。

加藤氏は「保険料を納めている人が保険診療を受けれる権利を持つのは当然であり、前提だ」と指摘した。